

【質問】私は高血圧の持病があるため、治療が必要です。大きな総合病院にするか、近所の診療所にするか迷っています。どちらが良いでしょうか。

(53歳・自営業男性)

## かかりつけ医

【回答】高血圧の人が大きな病院にかかったほうが良いのか、近所の診療所が良いのかとの質問ですが、かかりつけ医として通いやすい、近くの診療所をお勧めします。

最近は大病院志向の患者が多くなったようです。専門医がそろっていて、高度な医療機器も備わっているから安心というのがその理由です。ですが、かかりつ



自己負担以外に「選定療養費」という負担金を請求される場合があります。大病院の一般の外来患者を減らして、専門医を高度医療に専念させるといふ国の方針があるからです。

ため、容態があまり変わらない慢性疾患の患者に対しては長期処方が普通となっ  
国は医療を効率化するために医療機関の機能分化を進めています。一般患者の

# 近所の診療所が最適

け医として大病院が良いかというところとばかりはいえないのです。  
大病院の外来は患者であふれています。医師不足のため病院の専門医は多忙を極め、外来患者にゆっく

り対応する時間がありませぬ。多すぎる患者をさばく  
ています。処方期間が2カ月以上にわたることも多く、長い間診察をしないために、患者の容態の変化に気がくのが遅れる—ということがしばしばあると指摘されています。

200床以上の病院に初めてかかる時に、初診料の機関の医師はかかりつけ医

## 定期的に専門医の検査を

に適しているといえます。かかりつけ医は患者の性格や家庭環境まで把握して、患者の病状の変化に迅速に対応できます。もちろん、病状が悪化したときや難しい病気のときは専門医に紹介します。

そして専門医の治療により病状が安定したら、再びかかりつけ医に診てもらいながら専門医の検査を定期的に受けるという「病診連携」の下で治療を続ける態勢が患者にとって最も安心できる医療といえます。

県医師会は病院と診療所で患者情報の共有を可能にするクリニカルパス(一種の患者手帳)を活用して、効果的かつ質の高い病診連携を目指しています。

(県医師会)